

産業建設常任委員会

【令和４年９月定例会 審査経過報告書】

審 査 日	令和４年９月１５日				
番 号	陳情 第４－３号	付託日	令和４年６月８日		
件 名	公共財としての日本の種子を保全し、食の安全を守るための新たな法整備と積極的施策を講じることに関する請願書				
紹介議員					
説 明 者	なし				
審査経過	本陳情は、６月８日に付託され、６月９日に１回目の審査を行い継続審査としていた。閉会中の継続審査の中で、高南農業改良普及所・ＪＡ・農林水産課に高知県内の現状について、説明を受けた。 高知県内の状況としては、「高知県主要農作物種子生産要綱」を定め、種子法廃止前と同様に優良種子の生産・安定供給ができているとの説明であった。 上記の、高知県の対応を踏まえ、再度、産業建設常任委員会で審査を行った結果、本陳情に関しては「不採択」とすることに決定した。				
【委員の意見】					
○県の要綱に準じて対応しているので、条例を制定する必要はないのではないかと。					
審査結果	不採択 （ 全員一致 ）				
意見書提出	無				
少数意見の留保	無	報告者		賛成者	
そ の 他 (付帯意見等)					

産業建設常任委員会

【令和４年９月定例会 審査経過報告書】

審 査 日	令和４年９月１５日、令和４年９月２０日				
番 号	陳情 第４－９号	付託日	令和４年９月１４日		
件 名	文化施設の木造化を求める陳情書				
紹介議員					
説 明 者	協同組合高幡木材センター 代表理事 伊藤訓新 農林水産課長 佐竹雅人				
審査経過	９月１５日、陳情者の願意を確認後、大元政策監より実施設計の状況について、３棟のうち、アプローチ棟、線路棟の構造は木造であり、メイン棟も含め、建物全体で四万十ヒノキをはじめとする町産材を使用する計画であるとの説明を受けた。 委員の意見を総括すると、施設の木造化には賛同できる。しかし、実施設計もまもなく終了する段階において、木質化であれば採択に賛同できるが、全体の木造化となると困難ではないかとの意見があった。 以上の経過より、審査結果として、全員一致で不採択となった。				
【委員の意見】					
○本体工事費がはっきりしていないので、先行きが不透明である。 ○木造化の推進には賛成であるが、基本設計が完成し、実施設計もまもなく完了する状況であることは考える必要がある。 ○全体の木造化は困難であると考える。 ※委員会の意見としては、全体の建物については木質化を図るように進めていただきたい。					
審査結果	不採択 （ 全員一致 ）				
意見書提出	無				
少数意見の留保	無	報告者		賛成者	
そ の 他 (付帯意見等)					